

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

① 預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	242万台	530万台	46%	249万台	△7万台	97%
継続検査時等預託				232万台	△232万台	0%
引取時預託(後付預託を除く)	25万台	19万台	130%	36万台	△11万台	69%
合計(A)	267万台	549万台	49%	517万台	△250万台	52%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	10万台	14万台	73%	13万台	△2万台	81%
預託台数合計(A)+(B)	277万台	563万台	49%	529万台	△252万台	52%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,500円	6,550円	△50円	6,490円	10円
エアバッグ類	2,470円	2,460円	10円	2,450円	20円
フロン類	2,070円	2,070円	0円	2,070円	0円
合計	11,040円	11,080円	△40円	11,010円	30円

(3) 品目別の装備率

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	89%	94%	△5	89%	0
フロン類	94%	98%	△4	95%	△1

(4) 金額

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	28,628百万円	60,128百万円	48%	55,195百万円	△26,566百万円	52%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	242万台	530万台	46%	249万台	△7万台	97%
継続検査時等預託				232万台	△232万台	0%
引取時預託	25万台	19万台	130%	36万台	△11万台	69%
合計	267万台	549万台	49%	517万台	△250万台	52%

(2) 金額

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	614百万円	1,263百万円	49%	1,188百万円	△574百万円	52%

預託金預り収入計

金額

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	29,242百万円	61,390百万円	48%	56,383百万円	△27,141百万円	52%

【予算との比較】

新車購入時預託台数は、前年度上半期実績進捗率47%であることから、ほぼ想定のとおり。結果、再資源化等預託金預り収入の対年間予算進捗率は、50%未満である。

(※) 引取時預託(後付預託を除く)

引取業者引取台数に対する引取時預託台数(後付預託を除く)の比率が、予算想定を上回った(上半期実績12%、年間予算想定5%)。

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託

新車購入時預託台数は、前年度同期実績を下回った。

○継続検査時等預託

継続検査時等預託は、前年度で終了した。

○引取時預託(後付預託を除く)

引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している。)。このため、引取時預託台数(後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回った。以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は、前年度同期実績を下回った。

【参考】上半期における預託方法別のエアバッグ類・フロン類の装備率の実績

装備率	平成20年度2Q	
	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	16%
フロン類	99%	39%

【予算との比較】

同上。

【前年度同期実績との比較】

同上。

②特定資産運用収入—再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
4,709百万円	9,713百万円	48%	4,056百万円	653百万円	116%

【予算との比較】

保有債券残高は年度末に向けて積み上がるため、特定資産運用収入は、上半期よりも下半期の方が多いことを想定。よって、特定資産運用収入の対年間予算進捗率は、50%未満である。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより特定資産運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成20年度2Q末残高	平成19年度2Q末残高
7,596億円	7,314億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	199万台	370万台	54%	189万台	10万台	105%
エアバッグ類	67万台	128万台	52%	49万台	17万台	136%
フロン類	154万台	284万台	54%	145万台	10万台	107%

(2)品目別の平均単価

	平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,110円	6,080円	30円	5,970円	140円
エアバッグ類	1,960円	1,940円	20円	1,910円	50円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3)金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
16,685百万円	30,927百万円	54%	15,228百万円	1,457百万円	110%

【予算との比較】

払渡台数は、前年度上半期実績進捗率53%であることから、上半期の方が下半期よりも多いことを想定。引取業者引取台数は、想定を上回るペースで推移している。よって、再資源化等預託金払渡支出の対年間予算進捗率は、50%超である。

【前年度同期実績との比較】

引取業者引取台数が前年度を上回るペースで推移しており、払渡台数が前年度同期実績を上回ったことから、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《引取業者引取台数実績》

平成20年度2Q	平成19年度2Q
200万台	188万台

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
208万台	370万台	56%	200万台	8万台	104%

(2)金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
380百万円	607百万円	63%	327百万円	53百万円	116%

【予算との比較】

〇払渡台数は、前年度上半期実績進捗率54%であることから、上半期の方が下半期よりも多いことを想定。引取業者引取台数は、想定を上回るペースで推移している。よって、払渡台数の対年間予算進捗率は、50%超である。

〇さらに、単価230円の払渡台数の比率が予算想定を上回ったため、情報管理預託金払渡支出の対年間予算進捗率は、63%となった。

【前年度同期実績との比較】

引取業者引取台数が前年度を上回るペースで推移しており、払渡台数が前年度同期実績を上回ったことに加え、単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を上回ったことから、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成20年度2Q				平成19年度2Q	
	決算		年間予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	99万台	48%	244万台	66%	133万台	67%
230円	109万台	52%	126万台	34%	67万台	33%
合計	208万台	100%	370万台	100%	200万台	100%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
334百万円	664百万円	50%	149百万円	186百万円	225%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出は、前年度上半期実績進捗率53%であることから、上半期の方が下半期よりも多いことを想定。結果、未払再資源化預託金等利息支払支出の対年間予算進捗率は、50%である。

【前年度同期実績との比較】

〇平成20年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成19年度よりも高い。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率
適用利率	0.004%	0.380%	0.835%	1.132%
平成19年度払渡	0.004%	0.380%	0.835%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

〇利息を付す払渡台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

預託金払渡支出計

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
17,400百万円	32,197百万円	54%	15,704百万円	1,696百万円	111%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
71万台	139万台	51%	43万台	28万台	166%

(2)平均単価

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	差異(a) - (b)	決算(c)	(a) - (c)	
10,770円	11,360円	△590円	10,270円	500円	

(3)金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
7,673百万円	15,802百万円	49%	4,409百万円	3,264百万円	174%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
139百万円	340百万円	41%	39百万円	100百万円	356%

預託金輸出返還支出計

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
7,812百万円	16,142百万円	48%	4,448百万円	3,364百万円	176%

【予算との比較】

○輸出返還台数の上半期の対年間予算想定台数進捗率は49%と想定。
しかし、上半期実績進捗率は、既に50%超となった。
○一方、平均単価は予算想定を下回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出の対年間予算進捗率は、50%未満となった。

【前年度同期実績との比較】

輸出返還台数及び単価が前年度同期実績を上回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

《参考》輸出返還台数実績

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成19年度	18万台	25万台	33万台	33万台	110万台
平成20年度	34万台	37万台			71万台

(※)月別の輸出返還台数及び平均単価の実績推移は、参考資料を参照。

【予算との比較】

○未払再資源化預託金等利息支払支出は、前年度上半期実績進捗率34%であることから、上半期よりも下半期の方が多きを想定。
○台数の上半期実績進捗率は既に50%超となったが、利息平均単価は予算想定を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出の対年間予算進捗率は、50%未満である。

《参考1》上半期における利息が付される輸出返還台数の実績

預託年度	平成20年度2Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	9万台	29万台	29%
平成17年度	41万台	70万台	59%
平成18年度	18万台	28万台	65%
平成19年度	2万台	9万台	27%
合計	71万台	137万台	52%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)年間予算において平成20年度に預託された自動車の輸出返還は2万台と想定。

なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《参考2》上半期における利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績

	平成20年度2Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
利息単価	¥197	¥248	79%

【前年度同期実績との比較】

○平成20年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成19年度よりも高い。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率
適用利率	0.004%	0.380%	0.835%	1.132%
	0.004%	0.380%	0.835%	-

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

○利息を付す輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
303百万円	303百万円	100%	109百万円	195百万円	279%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
7百万円	7百万円	100%	1百万円	5百万円	514%

他会計への繰入金支出計

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
310百万円	310百万円	100%	110百万円	200百万円	282%

【予算との比較】

本年度の他会計への繰入金支出は、第1四半期の出えんで完了。

【前年度同期実績との比較】

《出えん等実績》

出えん等先	出えん等額(※)	
	平成20年度2Q	平成19年度2Q
資金管理人	-	-
指定再資源化機関	70百万円	-
情報管理センター	240百万円	110百万円
合計	310百万円	110百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入－再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
25,309百万円	48,602百万円	52%	19,880百万円	5,429百万円	127%

【予算との比較】

事業活動支出の想定から、上半期の方が下半期よりも多いことを想定。よって、特定資産取崩収入の対年間予算想定台数進捗率は、50%超である。

【前年度同期実績との比較】

事業活動支出の合計額が前年度同期実績を上回ったため、これらの支出の原資となる特定資産取崩収入は前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出－再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成20年度2Q			平成19年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
36,732百万円	71,358百万円	51%	65,692百万円	△28,959百万円	56%

【予算との比較】

預託金預り収入の資金管理人の金融機関口座への入金額は、前年度実績から上半期の方が下半期よりも多いことを想定。よって、特定資産取得支出の対年間予算想定台数進捗率は、50%超である。

【前年度同期実績との比較】

継続検査時等預託が前年度で終了したことに伴い、預託金預り収入の資金管理人の金融機関口座への入金額が前年度同期実績を下回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。